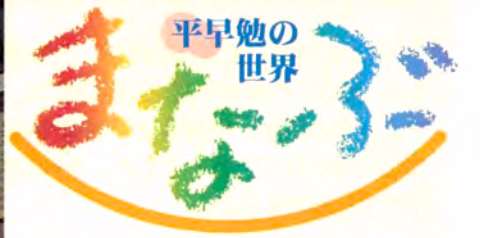


こどもの城 ニュース

1997・10・15 NO.79 発行 / [こどもの城]広報部 ☎ 03-3797-5666
〒150 東京都渋谷区神宮前5-53-1



北部の辺境に中国系の人々が住む小さな村があります。50年前に中国から戦乱を逃れてきた人々は、これまでタイの人々と交流することも少なく、ひっそりと中国式の生活スタイルを守っています。
中国語しかしゃべれない児童のために、きょうはタイ語の授業です。泥だらけの子もひとみ輝かせ、新しい知識を学んでいました。
(タイ・クオミンタン村)

見つめよう! 世界を、地球を、夢を。

10月30日～11月9日 [こどもの城] 開館記念「ファミリーウィーク」



うちゅうきゅう (写真中央)

11月1日は、[こどもの城]の12回目の開館記念日。10月30日～11月9日の「ファミリーウィーク」には、家族そろって楽しめるプログラムをいっぱい用意しました。今年は、海外のアニメーションや絵本の紹介、世界の楽器のコンサート、宇宙をテーマにした造形など、次代を生きる子どもたちに世界に目を向けてもらうきっかけになればと、広い視野で〈遊び〉と〈文化〉をとらえてみました。

なお、11月1日は、18歳未満の子どもは無料で入館できます。



汗を流して走る

世界の鬼ごっこ
世界には、日本の鬼ごっこによく似た遊びがたくさんあります。さらに、鬼ごっこが発展したスポーツもあります。今回は、鬼ごっこをそれぞれのスポーツのつながりを紹介します。楽しく元気に体を動かして、汗を流します。
(11月1～3日 / 体育室)

宇宙に浮かぶ惑星を作る

造形スタジオのワークショップは、風船に紙をはって惑星を作る「うちゅうきゅう」(写真上)など、宇宙をテーマにしたものです。親子で取り組めます。(11月1～3日)
また、1年間(昨年11月から10月)の作品を展示した「第12回造形スタジオ展」も併せて開催します。(休館日を除く11月1～24日写真右)

宇宙の不思議をくわしく知ろう

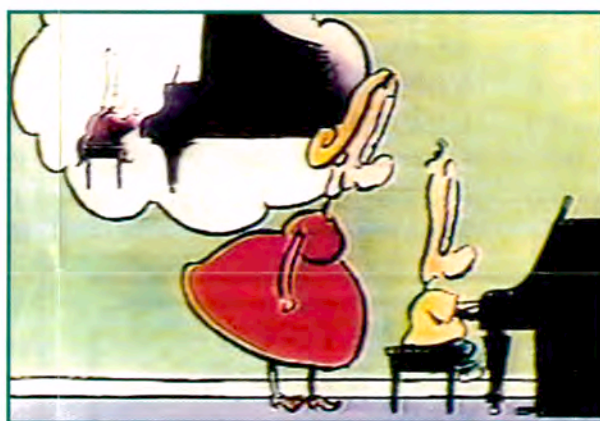


昨年開催された「第12回造形スタジオ展」

カナダのアニメーション

「こどもの城」のフィルムライブラリーの中から、「子どもの権利条約」をテーマに取り上げたオムニバスの短編アニメーション集「ライツ・フロム・ザ・ハート・パート2」(「ジョナスとリサ」ゆきすぎ「アーティスト」子どもなのに「など」7作品)を上映します。(11月2・3日 / スタジオB)

“子どもの権利”を考える



ライツ・フロム・ザ・ハート パート2 「ゆきすぎ」

育児を仲間と分かち合う

毎月開催している「赤ちゃんサロン」のスペシャル版。乳幼児を持つお母さんと小児科医、栄養士、臨床心理士との楽しい語り合いの場です。親子体操、親子遊び、音楽遊びや小児科医の楽しいトークなど。(10月30日 / 研修室)

赤ちゃん大集合!



世界各国の子どもたちと音楽で交流

[こどもの城]児童合唱団、上海で初めての海外公演



撮影：野口浩一

「こどもの城」児童合唱団が、上海市(中国)で行われた「上海国際少年児童文化芸術祭」8月2～8日」に招待され、初めての海外公演を行いました。
左の写真は8月8日に、上海市大夏ホールで開催された「上海国際少年児童文化芸術祭閉会式(中国国営放送で放映)で元氣よく歌う合唱団の子どもたち。(2面に関連記事)

カナダの絵本をさわって、カナダを感じてみる

「Creating the Mosaic カナダの絵本と子ども文化展～多民族の国・カナダを創る子どもたち～」(11月1～9日)



カナダの絵本には、先住民族の文化が色濃く反映された作品がたくさんあります。

「Creating the Mosaic」カナダの絵本と子ども文化展～多民族の国・カナダを創る子どもたち～では、ふだんなかなか目にするのでできないカナダの絵本300冊を展示します。手に取って開いてみると日本の絵本にはない絵柄や色彩、人物の服装や風景が目飛び込んできて、カナダの風土や暮らし、子どもたちの生活を感じる事ができます。それぞれの本には、簡単な日本語の解説がついているので、さらに理解を深める事ができるはずです。
また、専門の語り手による読み語りの実演やカナダの手遊びの紹介、昔から伝わる魔除け「ドリームキャッチャー」を作るワークショップも期間中毎日行われます。(11月1～3・5～9 / ギャラリー)
このほか、11月9日にはオタワ中央児童合唱団の10歳から15歳の子どもたちとの交流コンサートが予定されています。

夢をかたちに

TEO。そこは地球とよく似た環境をもち、独自の生命が営まれている、美しい惑星です。
朝夕があり、天気や季節も変化します。私たちは、TEOの世界を操作することはできません。
でも、パソコンにTEOアンテナを接続し、CD-ROMをセットすれば、TEOとの通信機に変わります。そしてこの星で気ままに生活している個性的な生き物たちにコンタクトし、豊かな時を共有することができのです。

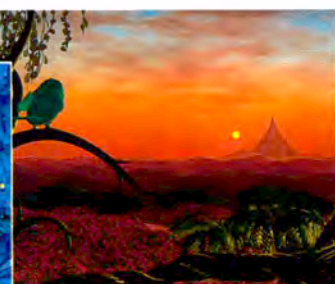


話しかけてごらん。

ディスプレイの向こうに広がるのは、もうひとつの地球。



フィンフィンは自分の意志と感情をもつ野性の生き物。だからペットのようにかいはならずにはできません。でも仲よになると、うたを聴かせてくれたり、アクロバットを見せてくれます。



TEOも地球と同じように時間が流れています。朝が来て、夜になり、天気も季節も刻々変わっていきます。地球で一日がたつと、TEOでも一日が過ぎていきます。

●お問い合わせ / 富士通株式会社 電腦エーゼントプロジェクト部
フリーダイヤル 0120(39)2122(土・日・祝日のぞく9:00～17:00)
インターネットで「TEO」の情報をご覧いただけます。 <http://www.teo-world.com>

*TEOは実在する惑星ではありません。コンピュータに展開された仮想上の惑星です。本誌に記載の内容は1996年10月現在のものです。
*WindowsはMicrosoft Corporationの商標。およびその他の利用における登録商標です。Pentiumはインテル社の商標です。 *価格・仕様などは予告なく変更する場合があります。



もうひとつの地球



〔こどもの城〕児童合唱団が、上海市(中国)で行われた「上海国際少年児童文化芸術祭」(8月2~8日)に招待され、初めての海外公演。芸術祭には、オーストラリア、ベルギー、カナダ、ハンガリー、日本、韓国、タイ、ロシア、アメリカのほか、中国各地の音楽や舞踊などの芸術や文化を演じる子どものグループ26団体が参加。3つの会場に分かれて公演しました。今回の海外公演は、(財)東芝国際交流財団、(財)日本児童演劇協会からの助成を受けて行われました。

“トトロのうた”はみんなが知って いて“振り”をまねしてくれた

上海の少年宮や各国の子どもたちとも交流



上海市内の少年宮交流会の歓迎式典であいさつをする〔こどもの城〕今泉理事長(中央)

〔こどもの城〕児童合唱団は、4日に宛平劇場(客席数約1000席)で2回、ロシアと中国の子どもたちと一緒にステージに立ち“こどもの城のうた”“ホテルこいーソラン節”“トトロのうた”などを合唱しました。トトロは中国の子どもたちの間でも大人気。客席の子どもたちも大よろこびでした。

また、中国全土にテレビ中継された閉会式にも出演しました。芸術祭出演のほかにも、3グループに分かれて上海市(区)の「少年宮」(小・中学生の子どもたちが放課後、音楽やバレエ、書道、絵画、造形などの芸術を学ぶ施設)を訪問し、少年宮の子どもたちとの交流会を行うなど、充実した公演旅行を行ってき

ました。中国語で曲目紹介をした小学校1年生の池間奈乃さん。「ひと言言うたびに拍手、拍手。拍手がいっぱいで、なにを言っているかわかんなくなっちゃって……」と、予想以上の反響にちょっと驚いた様子。「(歌に合わせて)お客さんも一緒に手をたたいてくれて、うれしかった。すごく練習したもんね」と、“ソラン節”のソロを歌った中島桃子さん(小1)。“トトロのうた”のとき、ステージの中央に出て踊った市来陽子さん(小1)は、「ちょっと緊張した。でも、中国のお友だちとゲームをしたり、アイスを食べたり、楽しかった」と話しています。

中国滞在中に誕生日を迎えた山分洋平さん(小1)は、ホテルでパーティー。ロシアから参加した同じ日が誕生日の女の子に祝福のキスをされた、とちょっと照れくさそう。でも「ケーキが大きかった」と大よろこび。「トトロが中国でも人気があっ



中国の子どもたちとプレゼントを交換し、交流を深める

て、みんなが知っていて、一緒に“振り”をまねしてくれたうれしかった。言葉が分からないのに、心が伝わった。同じホテルだったタイとカナダの人たちと、身振り手振りで話をした。おみやげを交換したり、ブリクラのシールをあげたりした」と話すのは、中学1年生の安達真実さん。本場のライチがとてもおいしかったそうです。

〔こどもの城〕児童合唱団は、小学校1年生から中学校3年生まで、障害を持った子どももいます。今回の海外公演には、父母、スタッフを含めて約190人が参加しました。指導にあっている吉村温子さんは「合唱団は、いろいろな子どもが一緒になって、出会いを大切に活動しています。中国では、年齢層の異なる子どもや、障害を持った子どもと一緒に演奏するのは考えられないことのように、このような合唱ができることに驚いていました。演奏を通じて、合唱団の子どもたちそれぞれが持っている“エネルギー”を伝えることができたと思う」と話しています。

こどもの城 と なかまたち

こどもの城児童厚生員等実技指導講習会を開催
平成9年度の第2回「こどもの城児童厚生員等実技指導講習会」が10月1日から3日間、〔こどもの城〕で開催され、全国各地の児童館、児童センターなどから54人の児童厚生員が参加しました。

今回のテーマは「楽しいつどいの運営術」。児童館に集まってくるさまざまな年齢の子どもたちが、楽しく参加できる“つどい”の実践について、企画の立て方から“つどい”の内容、プログラムの進め方までを講習しました。

講習会では、“つどい”のプログラムに活用できる「実践リーダーズシアター〜愉快で簡単な演劇法〜」「子どもと楽しむ手品」

単にできる手品の数々を指導。参加者は、教わったばかりの手品をいかにスマートに演じるか、互いに見せ合いながら、一生懸命に練習していました。

講習会の最後は、「こどもの心をつかむ企画術」。全国子ども会連合会常務理事でUDA教育ゲーム研究所の宇田川光雄所長から全体をまとめる形の講義が行われました。

リーダーズシアターというのは、読み語りや演劇の中間のようなもので、何人かに分かれてせりふやナレーションを話します。特別な衣装などは使わないので、手軽に上演することができます。講師は、パフォーミングアーティストの佐藤恭子さん。

「子どもと楽しむ手品」の講師は、劇団・コロンの荒木文子さん。簡

それぞれ“役”を決めて、リーダーズシアターの練習



それぞれの“役”を決めて、リーダーズシアターの練習

幼児グループ メンバー募集!

〔こどもの城〕保育研究開発部で行っている保育プログラム「幼児グループ」は、4・5歳児を対象に、継続的に保育を行うグループです。少人数で、〔こどもの城〕を活動の場として、「保育クラブ」の3歳児が加わった3〜5歳児の異年齢混合での保育を行っています。今回、平成10年度の「幼児グループ」のメンバー(4歳児のみ)を募集します。活動日は、火・金曜日の4日間、10時から2時まで。【募集対象・人数】4歳児(平成5年4月2日〜6年4月1日生まれ)10人【募集要項】申し込み希望の人は、必ず見学説明会(10月7、8、16、17、22、23=要電話予約)に出席のうえ、ご応募ください。なお、募集要項は5階保育研究開発部の窓口で配付しています。詳細は、保育研究開発部 ☎03-3797-5669へ。

「ミラクルタマゴを作ろう」(保育室)、「世界の音楽こんにちは」(音楽ロビー)、「きみが主役! ゲームでチャレンジ! 世界の昔ばなし」(屋上ふしぎが丘)など親子で楽しむプログラムがいっぱい。また、11月1日は18歳未満の「子ども」の入館は無料です。

8日から先着順に電話で受け付けています。お申し込み・お問い合わせは〔こどもの城〕企画研修部 ☎03-3797-5665へ。

「敬老の日」にちなんで催し「おじいちゃん、おばあちゃんに“げんき”おたより」が、9月13〜15日にプレイホールで行われました。参加した子どもたちは、〔こどもの城〕オリジナルのはがきに、スタンプやペンを使って絵を描いたり、「おじいちゃん、おばあちゃんいつまでもげんきでね」などと手紙を書いて「げんきおたより」を仕上げていました。



代々木公園で
保育の青空
プレイ大会
60組の家族が参加

保育クラブ・幼児グループの「97青空プレイ大会」が晴天の9月28日、都立代々木公園で行われ、60組約150人の家族(おじいちゃん、おばあちゃんも)が参加、楽しいひとときを過ごしました。「へんし〜ん木の実」は、小さな秋を感じることでできたゲーム。公園に落ちていた色づいた木の葉やどんぐり、木の実、小枝を拾い集め、リーダー役のお父さんを飾りたてます。都会の中でもできる、自然に親しむプログラムです。

11月1日〜3日に開館記念人形劇フェア

人形劇がいっぱいの3日間!

11月1日から3日まで「こどもの城開館記念 人形劇フェア」が、地下1階フリーホール(ほかで開催されます。開館記念特別期間プログラム「ファミリーウイーク」の1つで、家族そろって楽しめる演目がいっぱいです。□11月1日=「歩く人形劇場 あかづきちゃん」/「ハロー! カン

クロー」(出演=エツコワールド)。□11月2日=「三枚のおふだ」(出演=人形芝居くりちゃん)。□11月3日=「人形芝居 したきりすずめ」(出演=人形劇団くぐつ) 各日とも、午後1時と3時の2回公演します。会場は地下1階フリーホール(1日1時の回のみ3階プレイホー

**AVライブラリー
からのお知らせ**
コンピュータシステム改修のため、11月4〜24日の間、お休みさせていただきます。

ル)。入館料だけで参加できます。このほかにも、開館記念特別期間(11月1〜4日)は、「パソコンペーパープレイン」(パソコンルーム)、

11月14日から「おりがみカーニバル」

11月11日の「おりがみの日」にちなんで、11月14〜16日に〔こど

ももの城〕のフリーホールで「第4回 おりがみカーニバル」(主催=こどもの城、日本折紙協会)が開かれます。日本折紙協会の会員がオリジナルティを生かして折った作品「すきなものと日本の童謡」をテーマにした2.7m四方の作品の展示や、だれもが楽しめる「おりがみワークショップ」を行います。ワークショップで作った



展示された作品を見る親子(昨年のカーニバルから)

作品は、会場に設けられた大きな光るツリーに飾り、クリスマスまで〔こどもの城〕に展示する予定です。あわせて、「第6回おりがみにつよくなる講習会」を、11月15日(土)午後3時〜5時と11月16日(日)午後1時〜3時の2回開催します。児童厚生員や保母など、子どもの健全育成にかかわる大人や学生などを対象としたもので、「クリスマス」と「お正月」の壁面装飾など、児童館や保育所ですぐに役立つ実践的な講習会です。定員は各回60人、参加費(材料費込み)は3,000円です。10月

高校生リーダーL.I.T.

「コスモール2097」を終え、9月から新メンバーで活動

〔こどもの城〕で活動している高校生リーダーL.I.T.(Leader in Training)が企画・運営した、夏休み特別期間のプログラム「コスモール2097」が8月23・24日に、地下1階のフリーホールで開かれました。L.I.T.はさまざまなボランティア活動を、年齢や地域を超えた仲間と行うことを目的としている高校生のグループ。平成8年度の活動の締めくくりとして、親子で楽しめる“遊びのプログラム”を企画し、夏休みを返上し



さんの親子が買い物(遊び)に訪れ、メンバーはうれしい悲鳴。大きな自信と充実感を持って1年間の活動を締めくくりました。9月15日には、平成9年度L.I.T.がスタート。高校1・2年生の新メンバー16人で開講式を行い、オリエンテーションのほか、これからの活動内容・日程などを話し合いました。10月には「横須賀・オリエンテーリング」、12月には「遊びの自主企画」などが予定されています。

〔こどもの城〕シリーズ 刊行始まる

“スポーツ遊び”などのテーマで続刊予定

児童館や保育所などの現場で役立つように、〔こどもの城〕の活動をまとめた事例集。プログラムの企画から実際まで、実践的なノウハウがいっぱい。

一緒に遊ぼう 楽しく子育て〜一人ひとりが輝くために

保育研究開発部で行っている「子育て支援のプログラム」を集めました。1・2・3〜5歳の幼児を対象としたプログラムから、母子、親子、父子、家族プログラムまで、保育者の視点、実施上の注意点、応用・発展へのヒント、そして個々の対応のポイントなど実践的な「子育て支援」ノウハウがまとめられています。こどもの城保育研究開発部編著

うつる うごく“映像遊び”探検隊〜アニメおもちゃからビデオまで

AV事業部の「映像遊び」のプログラム集成。映画が発明される以前に考案された“視覚玩具”(眼の錯覚・残像などを利用した玩具)を応用した遊びから、ビデオを使った遊びまで、特別な道具を使わずに楽しめるさまざまな「映像遊び」を集めました。巻末には主要プログラムの型紙がっています。こどもの城AV事業部編著

各巻とも、A4変形判130ページ 2色刷り、本体価格は、1,800円(税別)。全国の書店で取り扱っています。書店で手に入りくい場合は、直接発行元へお申し込みください。送料は1冊、340円です。〔こどもの城〕売店でも販売しています。

発行=中央法規出版株式会社 〒151 東京都渋谷区代々木2-27-4 ☎03-3379-3861(代)



青山円形劇場

●東宝ミュージカル特別公演「ラ☆カーズ オ・フォー」
▽10月2〜26日 ▽S=12,000円、A=7,000円、B=4,000円 ▽出演=市村正親、岡田真澄、沢たまきはか
●The Night of the Modern Ballet
▽10月31日〜11月3日 ▽S=15,000円、

青山円形劇場

S=12,000円、A=7,000円 ▽出演=熊川哲也、堀内充、草刈民代ほか
●劇団四季ミュージカル「李香蘭」
▽11月9〜24日 ▽S=9,000円、A=7,000円、B=5,000円、C=3,000円(消費税別)
※昼は各1,000円引き
●第11回青山演劇フェスティバル〜別役実の世界1997〜
○シリーズプロデュース「病氣」
▽10月17〜26日 ▽全席指定4,000円(当日4,300円)
○青年団プロデュースVol.6
「マッチ売りの少女たち〜別役実初期作品群より〜」
▽10月29日〜11月2日 ▽全席指定4,200円、高校生2,000円、学生2,500円(30日4時のみ)
○宮沢章夫&ウクレレプロデュース「会議」
▽11月5〜9日 ▽全席指定4,200円(当日4,500円)
●吉岡しげ美が歌う「岡本かの子」の世界〜肉体の感じ〜
▽11月10日 ▽4,200円(当日4,500円)
●アキコ・カンダダンスリサイタル「バルバラを踊る」
▽11月14〜16日 ▽4,000円

●ご予約・お問い合わせは、青山劇場予約センター☎03-3797-1400へ。